



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 表示灯株式会社 上場取引所 東
コード番号 7368 URL <http://www.hyojito.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳毛 孝裕
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 永井 東一 TEL 052 (307) 6633
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,309	△2.6	106	7.7	118	6.3	71	6.7
2023年3月期第1四半期	2,369	△1.1	98	△48.2	111	△39.3	66	△43.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	15.05	—
2023年3月期第1四半期	14.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,225	7,223	54.6
2023年3月期	13,762	7,292	53.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,223百万円 2023年3月期 7,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,573	6.2	550	—	606	△2.4	413	401.7	87.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	4,720,245株	2023年3月期	4,720,245株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	45株	2023年3月期	45株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	4,720,200株	2023年3月期1Q	4,720,200株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信開示後に開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことに伴い、社会経済活動の正常化やインバウンド需要の回復もあり、景気に緩やかな持ち直しの動きが継続しました。先行きについても雇用・所得環境が改善する中で、政府による各種政策の効果もあって緩やかな成長が期待されますが、他方で、世界的なインフレ傾向や、為替・金融市場の急激な変動等、海外景気の下振れが懸念され、今後の景気の見通しは不透明な状況となっております。

広告業界においては、ウクライナ情勢や欧米の金融機関の破綻など先行きが不透明な面があるものの、新型コロナウイルス対策の緩和に伴い、「交通・レジャー」や「外食・各種サービス」などサービス関連の広告需要が拡大するほか、市場成長を牽引するデジタル広告の更なる伸張もあり、市場全体としては、プラスの成長を予測しています。

当社におきましては、ナビタ事業では、病院・寺社などの新規プラットフォームの拡大、WEBビジネスの販売強化や既存媒体(広告)価値向上や収益力向上を図り、アド・プロモーション事業では、広告各種における最適な企画・プレゼンテーション等によるサービスの向上を図るとともに、新たな付加価値の創造による新商品の拡大に取り組み、サイン事業では、引き続き鉄道関連を拡大していくとともに、自治体及び病院への取引拡大や新商材の開発に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上収益は2,309百万円(前年同期比2.6%減)となりました。営業利益は106百万円(同7.7%増)となり、経常利益は118百万円(同6.3%増)、四半期純利益は71百万円(同6.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(ナビタ事業)

ナビタ事業においては、既存ナビタの媒体(広告)の価値向上を図るとともに、WEB商材の販売強化や新規媒体開発による付加価値の向上、電子契約化促進などによるデジタル化を進めたこと等により、売上収益は1,993百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益は268百万円(同7.6%増)となりました。

(アド・プロモーション事業)

広告需要の回復の兆しが見られ、鉄道以外の媒体広告の拡販やマス媒体の強化及び自治体ビジネスに取り組んだ結果、売上収益は162百万円(前年同期比28.3%増)、セグメント利益は15百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

(サイン事業)

自治体・病院などにおける営業の強化や既存取引先との取引拡大に努めたものの、新商材の開発コストを計上したことなどから、売上収益は153百万円(前年同期比39.4%減)、セグメント損失は89百万円(前年同四半期はセグメント損失27百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は13,225百万円(前年度末比537百万円減)となりました。

資産、負債及び純資産の状況につきましては、以下のとおりであります。

①資産

流動資産につきましては、前払費用が増加する一方、配当金や仕入債務の支払いによる現金及び預金の減少や売上債権の減少等により、7,704百万円(同513百万円減)となりました。

固定資産につきましては、ナビタ事業における設備投資が増加する一方、減価償却による有形・無形固定資産の減少により、5,520百万円(同23百万円減)となりました。

②負債

流動負債につきましては、契約負債が増加する一方、仕入債務の減少や法人税等の支払などにより、5,787百万円(同474百万円減)となりました。

固定負債につきましては、退職給付引当金の増加などにより、214百万円(同5百万円増)となりました。

③純資産

剰余金の配当を141百万円実施した一方、四半期純利益71百万円を計上したことから純資産は7,223百万円(同68百万円減)となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,584,111	6,128,359
受取手形	57,178	95,113
電子記録債権	11,400	11,700
売掛金及び契約資産	919,702	373,394
棚卸資産	99,140	99,171
前渡金	45,868	177,815
前払費用	458,463	777,045
その他	50,927	45,962
貸倒引当金	△9,069	△3,996
流動資産合計	8,217,721	7,704,565
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	835,025	827,938
構築物（純額）	6,276	6,100
機械及び装置（純額）	5	4
車両運搬具（純額）	6,033	5,531
工具、器具及び備品（純額）	1,673,396	1,657,418
土地	1,710,972	1,710,972
リース資産（純額）	10,967	10,288
建設仮勘定	31,102	28,034
有形固定資産合計	4,273,780	4,246,289
無形固定資産		
ソフトウェア	256,459	256,796
その他	10,716	10,716
無形固定資産合計	267,176	267,512
投資その他の資産		
投資有価証券	67,997	71,356
出資金	625	625
長期貸付金	290	245
破産更生債権等	83,554	83,716
長期前払費用	156,325	183,939
保険積立金	280,622	280,622
繰延税金資産	304,306	303,404
その他	193,399	166,669
貸倒引当金	△83,554	△83,716
投資その他の資産合計	1,003,565	1,006,862
固定資産合計	5,544,522	5,520,664
資産合計	13,762,244	13,225,229

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	880,463	415,503
リース債務	4,006	4,006
未払金	197,665	143,686
未払費用	268,826	229,041
未払法人税等	121,716	58,939
未払消費税等	75,619	109,375
契約負債	4,518,239	4,643,479
前受金	3,131	3,131
預り金	25,138	85,185
賞与引当金	165,005	93,557
資産除去債務	1,111	1,111
その他	278	139
流動負債合計	6,261,203	5,787,160
固定負債		
リース債務	9,077	8,330
退職給付引当金	91,764	96,449
役員退職慰労引当金	74,860	76,210
資産除去債務	14,670	14,670
その他	18,469	18,469
固定負債合計	208,842	214,130
負債合計	6,470,046	6,001,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,761	923,761
資本剰余金	770,533	770,533
利益剰余金	5,570,048	5,499,467
自己株式	△85	△85
株主資本合計	7,264,257	7,193,676
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,940	30,262
評価・換算差額等合計	27,940	30,262
純資産合計	7,292,198	7,223,939
負債純資産合計	13,762,244	13,225,229

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上収益	2,369,682	2,309,042
売上原価	1,091,048	1,035,276
売上総利益	1,278,633	1,273,766
販売費及び一般管理費	1,180,074	1,167,609
営業利益	98,558	106,157
営業外収益		
受取利息	20	9
受取配当金	495	648
受取家賃	12,703	13,969
その他	1,711	800
営業外収益合計	14,931	15,427
営業外費用		
賃貸費用	2,206	3,192
その他	199	344
営業外費用合計	2,405	3,537
経常利益	111,084	118,047
特別損失		
固定資産除却損	5,833	6,857
特別損失合計	5,833	6,857
税引前四半期純利益	105,251	111,189
法人税等	38,703	40,164
四半期純利益	66,547	71,025

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ナビタ事業	アド・プロモ ーション事業	サイン事業	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	1,990,314	126,466	252,901	2,369,682	—	2,369,682
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,990,314	126,466	252,901	2,369,682	—	2,369,682
セグメント利益又は損失 (△)	249,468	△418	△27,193	221,857	△123,298	98,558

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△123,298千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ナビタ事業	アド・プロモ ーション事業	サイン事業	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	1,993,563	162,278	153,200	2,309,042	—	2,309,042
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,993,563	162,278	153,200	2,309,042	—	2,309,042
セグメント利益又は損失 (△)	268,515	15,015	△89,259	194,271	△88,113	106,157

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△88,113千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。